

きぬがさしょうてんがいれんごうかい

# 衣笠商店街連合会 (衣笠商店街連合会)

神奈川県横須賀市衣笠栄町

## 地域住民と全国のアニメファンに 来街される商店街



### 取組の背景

### 商圈調査によって 明確になった需要動向

商店街を取り巻く環境が大きく変化している。交通環境が整備され郊外に大型店が出店し、通販の進展や配送サービスが普及して競争が厳しくなっている。また高齢化や人口減少が進み商店街への来街者が減少している。この厳しい事業環境を分析するために、横須賀市の協力のもと、商店街が発行するポイントカードの利用者データをもとに、商圈範囲や年齢層、購買動向を調査した。また、横須賀市から提案のあったアニメ「ハイスクール・フリート」とのタイアップ事業について

も集客動向の分析を行い、会員店舗に対する報告会を実施した。

その結果、徒歩15分圏内の顧客の利用が、全体の半数以上を占めており、地域密着型の商店街であることが改めて確認された。その一方で「ハイスクール・フリート」とのタイアップによって、近隣だけでなく沖縄や青森といった遠方からもファンが来街していることが判明した。商圈分析により、地域住民と「ハイスクール・フリート」のファンという広域の需要を重視した取り組みを並行して行うことが来街者数の増加に繋がることが分かった。

### 取組の内容

### 子供の遊び場とアニメの タイアップ事業

商店街では子ども連れでも安心して来街していただくために、空き店舗を利用した屋内型の遊び場「衣笠商店街まちなかキッズパーク」を運営している。近隣に住む親子連れや、保育・福祉団体の子ども達の利用が増え、商店街への来街者増加につながっている。子ども達の利用が増えることで、将来大人になっても馴染みのある商店街として、継続して来街されることが期待できる。2020年3月から新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休業したが、12月に感染防止対策を徹底し、平日1組に限定し事前予約制で再オープンした。

重要となる。アニメファンは、好きなアニメを広く世間に知ってもらうため、積極的に関連情報を拡散する。TwitterなどSNSで「ハイスクール・フリート」に関連する「いいね」や「リツイート」の数が増加しており、高い拡散効果を生んでいる。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、域外からの来街が難しくなっているが、タイアップ事業に取り組んでいる飲食店には、「ハイスクール・フリート」をきっかけとして、常連客がフォロワーになり、その拡散効果によって、通信販売事業で一定の売上をあげる店舗もでてきている。

アニメ「ハイスクール・フリート」は横須賀が舞台となっており、商店街からほど近い衣笠山はキービジュアルとして使用された。タイアップしたスタンプラリーやオリジナル商品を販売したところ、全国各地からファンの来街につながった。会員のなかにも「ハイスクール・フリート」の特色を活かして、新たな顧客を増やしている店舗もある。継続してタイアップ事業に取り組むにあたって、アニメの内容を十分に理解してファンとアニメの話題を共有し、商店街がアニメとタイアップしていることをファンに十分認識してもらうことが



天然木を使用した「まちなかキッズパーク」

## 取組の成果

## 来街者の増加と域外からの需要の取り込み

1日の歩行者通行量は、2017年度12,322人、2018年度12,253人、2019年度12,558人と、多少の浮き沈みはあるが増加傾向にある。また商店街ポイントカード会員総数約8,000人のうち約5%の389人が「ハイスクール・フリート」がデザインされたポイントカードを持っている。その42%の165人が県外在住者であり、「劇場版 ハイスクール・フリート」の横断幕デザインタオルを通信販売したところ、90%以上が市外や

県外からの注文だった。全国のファンへ情報を発信することで、商店街への来街につながっている。



劇中横断幕を再現 ©AAS / 新海上安全整備局

## 実施体制

衣笠商店街連合会は14名の理事で理事会が構成され、それぞれ衣笠商店街振興組合、衣笠仲通り商店街協同組合の役員より選出されている。役員は総務・施設管理・集客・ポイントカード等の事業ごとに役割を分担している。事務局員は3名おり衣笠商

店街振興組合・衣笠仲通り商店街協同組合の事務局も兼任しているため、運営面において素早い対応が可能となっている。アニメ「ハイスクール・フリート」のタイアップで連携する横須賀市役所や、神奈川県商店街振興組合連合会、神奈川県中小企業団体中央会、商工会議所、各金融機関とも密接に連携し、事業運営において内部・外部からも十分なサポート体制が整っている。

## キーパーソンからのコメント

## 地域密着型商店街としての役割と新たな魅力を発信

「商店街のなかに公園を作ろう」と始まった「まちなかキッズパークプロジェクト」は、横須賀市の協力のもと実現した空き店舗対策で、天然木を使用した遊具の設置と寛ぎの空間を創り出すことにより、お子様連れや地域の保育・福祉団体にご利用いただき、商店街の賑わいとなっています。

当商店街は地域密着型商店街として、行政や地域団体、学生たちと連携

したイベントを行っています。アニメ「ハイスクール・フリート」とのタイアップも横須賀市よりご提案いただいたもので、スタンプラリー実施やコラボ商品販売に対する商圈分析から見えてきた域外来街者の増加を好機ととらえ、SNSでの情報発信を行い、地域・域外双方のお客様に商店街の魅力を感じていただけるよう取り組んでおります。



衣笠商店街連合会 会長 木継芳孝

## 商店街の概要

衣笠商店街連合会は、衣笠商店街振興組合と衣笠仲通り商店街協同組合により構成されている。JR衣笠駅が終戦後一般乗降客に利用されるようになり、商店街が形成された。1960年に衣笠商栄会商業協同組合として法人格を取得後、1963年に衣笠商店街振興組合として組織変更した。衣笠仲通り商店街協同組合は、1976年に衣笠商店街振興組合より分離、独自に商業活動を展開し1988年に任意団体から法人化した。設立当初よりハード面の整備、スタンプやイベント事業に取り組むも、大型店の出店で事業環境が悪化し、緊密に連携するために連合会として組織化した。

所在地 神奈川県横須賀市衣笠栄町  
人口 約39万人(横須賀市)  
電話 046-851-2310  
FAX 046-852-0198

URL <https://kinuten.com/>  
会員数 180名  
店舗数 147店舗(小売業53店、飲食業26店、サービス業36店、金融業5店、不動産業5店、医療サービス業22店)

商店街の類型 単独型  
主な客層 高齢者、主婦  
／60歳代、40歳代